

困った患者さんにどう活かす 診療室の行動科学

—親子へのアプローチ編—

深井穫博 中村譲治 文元基宝 編

事例で
学ぼう!!
学ぼう!!
学ぼう!!

患者さんの思いを聴き、適切な説明と同意が求められる今日、場当たりの対応では、支持は得られない。

“永いおつきあい”を育む患者-医療者関係の構築に欠かせない、すべての歯科関係者必読の一冊!



CONTENTS

各事例は、幼児期から思春期までの発達段階・発達課題および保護者の養育態度・関心度という観点から7つの章に分類。各章のテーマに有効な行動理論・モデルの紹介を通じて解説している。

第1章

動機づけ理論

生活習慣を育むモチベーションどう高める?

- 事例1: 保健指導を「聞いてはいるようで聞いていない」親子の行動がなぜ改善したか
事例2: 発達段階に応じた歯みがき習慣定着のための母子一体のアプローチ —メディアを利用して
事例3: 母親を通して祖父母へのアプローチを取り入れた間食指導

第2章

MIDORIモデル

家族の生活背景・生活習慣にどう迫る?

- 事例1: 初診時の面接で聴くこと
「はじめまして、あなたのことを聴かせてください」
事例2: リスクをどう診断するか —生活モデルからのアプローチ
事例3: 解決すべき課題を決め、どう共有するか —患児・保護者との共有化のプロセス

第3章

認知行動理論

歯科不安・歯科恐怖症児への対応は?

- 事例1: 「母親が恐怖心をおおっていた」
不安の強い子どもへの母子一体のアプローチ
事例2: 頑固に指しゃぶりをやめないのはなぜ?
家庭環境に起因する不安を抱えた子どもへの対応
事例3: 便列不正を気にする情緒不安定児への対応 —精神医学的アプローチと行動療法を利用して

第4章

ヘルスゼリーフ・モデル

心配性の親とどうかかわる?

- 事例1: 「ぶっきらぼうない方がいいが…何かありそう!」
歯科不信で治療方針への理解が得られない親への対応
事例2: 子どもの歯が心配で! 不安で! 仕方がない親へのアプローチ
事例3: 「落ち込まずにお母さん」
親の期待した成果が得られなかったときの対応

第5章

社会的認知理論

無関心・無反応な親とどうかかわる?

- 事例1: 「頑固なしに比べるばかり」
子どもにすべてお任せで、口腔内状態が悪化していく場合の対応
事例2: 治療への関心度が低い親へのアプローチ
—中断から学ぶ再来院時の対応
事例3: 「母親は否定するけれど、来院のたびに歯が増え…」
虐待が疑われる親へのアプローチ

第6章

治療の変化モデル

セルフケアが定着しない子への対応は?

- 事例1: 子ども(小学校・低学年)の歯みがきをどう習慣づけるか
—保護者へのアプローチ
事例2: 子ども(小学校・高学年)の歯みがきをどう習慣づけるか
—モデリングとセルフ・モニタリングによるアプローチ
事例3: フッ化物洗口の「関心がない」親と「続かない」子どもへのアプローチ

第7章

自己決定理論

来院が途絶えがちな思春期の子の対応は?

- 事例1: 中学生になったら「定期健診なんか行きたくない」といって出た
さあどうする?
事例2: いきなり口をきかなくなった反抗期まったなかの中学生
さあどうする?
事例3: 「来院が途絶えた後、急にう蝕が増えて再来院!」
嚥や部活で多忙な思春期の子どもへのアプローチ

●サイズ:A4判変型 ●128ページ ●定価:6,825円(本体6,500円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL 03-5842-2272 (営業) FAX 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp

患者さんのモチベーションUPに役立つ!

治療の成果に直結する保健指導は、今やすべての歯科関係者に求められる必須事項のひとつ。本書は、ときに歯科臨床で経験される“難しい”“苦手な”小児とその保護者への保健指導の場面(個別の事例)を入口に、実際の患者の対応に役立つ行動科学について、個別性から一般性・普遍性を学ぶ構成とすることで、わかりやすく理解・習得・実践できる入門書となっている。

各事例は、①初診時の状態とその後の経過、②具体的場面、③事例の分析と課題で構成。時間の経過とともに小児・保護者のセリフや医療者との関係性がどう変化したか、そのプロセスに着目しながら、「そのとき、自分ならどうするか」考えることで、実際の保健指導に活かせるヒントが見出せる。



読者が自院で作成する際の参考になるように、各筆者が独自に作成し、活用しているリーフレットや問診票なども掲載。

最後の「本事例から学ぶこと」では、個別の事例から見出される一般性・普遍性を「原則」「避けるべきこと」「技法」にわけて紹介。保健指導の具体的なポイントが箇条書きで示され、まとめて読めば、実践的な要約となる。

近日刊行予定

困った患者さんどう活かす 診療室の行動科学 成人へのアプローチ編

- 第1章 歯の喪失や治療に不安が強い患者の対応は?
- 第2章 思い込みや医療不信が強い患者の対応は?
- 第3章 無断キャンセルや治療中断への対応は?
- 第4章 定期健診へのモチベーションどう高める?
- 第5章 セルフケアが定着しない患者の対応は?
- 第6章 喫煙患者への禁煙指導どう進める?
- 第7章 身体的・精神的ストレスが強い患者の対応は?

※本日次は、今後変更される場合があります。

きりとり編

注文書

困った患者さんどう活かす 診療室の行動科学 親子へのアプローチ編

冊注文します。

●お名前

●ご指定納入店

●ご住所

●TEL

●FAX

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。